



材料(1人分)

●豚ロース	1枚(生姜焼き用)	●卵	20g
●スティックチーズ	1本	●パン粉	25g
●大葉	1枚	●油	適量
●塩コショウ	適量	●レタス葉	2枚
●小麦粉	10g	●トマト	1/8個

《施設のレシピ》

~若葉学園の人気メニューレシピ~ 豚肉のチーズ巻き

Recipe!

作り方

- ①: 豚肉に塩コショウをし、大葉、スティックチーズをのせて巻きます。
- ②: 小麦粉・卵・パン粉をつけ、油であげます。
- ③: 食べやすい大きさに切り、レタス、トマトを添えて盛り付け完成です。

●若葉学園 栄養士 富沢洋子

ちょっと気になるニュース

ホープゴミステーション清掃

地域小規模児童養護施設「ホープ」を開設してから約9ヶ月が経ちました。子ども達、職員共にホープでの生活も慣れ、毎日楽しく過ごしています。

そんな中、コロナ禍で地域との関わりをどのように持てるか子ども達と話をし、利用しているゴミステーションの清掃を行いました。率先して掃除をする姿は清々しく見え、子ども達も綺麗になったゴミステーションを見て誇らしげな表情でした。更に、地域の町内会長さんからもお褒めの言葉を頂きました。これからも、少しづつの積み重ねを大切にし、子ども達に地域の中で生活しているという気持ちが芽生えてくれたらと期待しています。これからも「地域の暮らしを守る」小さな取り組みを続けていきます。



おめでとう! :

令和2年秋の叙勲受章

●市来 より子(同胞保育園)

同胞保育園の市来より子園長が、秋の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。市来園長は、昭和60年の入職以来、児童養護施設の児童指導員、保育所の保育士等常に利用者の立場に立った支援をされ、社会福祉に幅広く携わり、従事されてきました。市来園長がこのような名誉ある章を受章されましたことは、事業団職員にとって日々の業務に従事していく中で、大変励みになることです。誠におめでとうございます。



社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

●長野 直美(ゆすの里)

鹿児島県知事表彰 全国社会福祉協議会会長表彰

- 野口 純仁(川内自興園)
- 中村 聰美(南部親子つどいの広場)
- 熊谷 千代子(若葉学園)
- 山下 とも子(慈眼寺寿光園)

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

- 堀之内 満(慈眼寺寿光園)
- 諏訪免 陽子(若葉学園)

鹿児島県社会福祉事業団永年勤続表彰

- 松林 大生(仁風学園)
- 岩崎 里美(鹿児島みなみ保育園)

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛・翔 HISHO

Vol.60

— 2021年1月 —



/ 同胞保育園 運動会 in かんまちあ \



生活発表会時
園児着用の耳かざり



CONTENTS

理事長あいさつ

【特集】鹿児島みなみ保育園:講師を招いての活動について P04

ねっとわーく ~施設の窓から~ P06

ふくしのおしごと紹介 P10

シリーズ人 他 P11

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階

TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939

E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL www.kagoshima-swc.jp



新年を迎えて

理事長 森秀樹



あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、我が国や本県においても、感染拡大によって日常生活は大きく変化し、また社会経済のあらゆる分野に深刻な影響が及んでいます。また、11月以来全国的に再び感染者が増加する傾向にあるなど厳しい状況にあり、より一層徹底した感染防止対策が求められております。

このような事態にあっても、私ども社会福祉法人は福祉サービスを維持・提供し、利用者や地域住民の暮らしを支えていく必要があると考えています。当法人や運営する各施設においても、職員一丸となって、従来の感染症予防に加え新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、利用者をはじめ関係者の皆様方の安全・安心を図ってまいり所存です。

さて、我が国では、人口減少・少子高齢化が急速に進行し、働く世代が減少していく中、国においては、2040年を見据えた社会構造の変化等に対応し、また、ポストコロナの新しい社会の実現を目指し、様々な課題を解消するための方針や新たな施策・取組に着手していますが、社会保障や社会福祉の分野においても、全世代型社会保障制度の構築、地域共生社会の実現など新しい時代の医療・福祉・介護分野の在り方の検討が鋭意進められつつあります。

このような中、当事業団におきましては、令和元年度から3か年間を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」に基づき、今後大きく変化する社会経済情勢や地域社会の変容を踏まえながら、当事業団としての将来のあるべき姿を見据え、これから事業団の持続的発展を目指して、引き続き、計画に掲げた各般の目標の実現に向けて取り組んでまいります。

本年も、全国的な福祉・介護分野の人材不足など厳しい環境の中ではありますが、自律的かつ自主的な経営を図りながら、利用者の方々により安全・安心で質の高いサービスを提供とともに、地域社会に貢献し、地域の皆様の福祉サービスのニーズに応えることができるよう、その責務を果たしてまいりたいと考えておりますので、関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症のできるだけ早い収束を願いますとともに、令和3年が皆様にとりまして明るい一年となりますようにお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会

令和2年6月8日

- 議案第1号 令和元年度事業報告(案)について
- 議案第2号 令和元年度計算関係書類及び財産目録(案)について
- 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正(案)について
- 議案第4号 鹿児島県社会福祉事業団職員給与規則の一部改正(案)について
- 議案第5号 鹿児島県社会福祉事業団契約職員給与規則の一部改正(案)について
- 議案第6号 正規職員(一般職)の導入について
- 議案第7号 児童養護施設仁風学園の施設整備計画(案)について
- 議案第8号 評議員選任・解任委員会委員の選任(案)について
- 議案第9号 常務理事の選定について
- 議案第10号 評議員会の招集並びに目的である事項等について

令和2年8月26日

- 議案第1号 令和2年度第一次収入支出補正予算(案)について
- 議案第2号 児童養護施設仁風学園の施設整備(案)について
- 令和2年11月27日
- 議案第1号 令和2年度第二次収入支出補正予算(案)について
- 議案第2号 同胞保育園外壁改修工事請負契約(案)について
- 議案第3号 養護老人ホーム慈眼寺寿光園の定員変更(案)について

評議員会

令和2年6月23日

- 議案第1号 令和元年度計算書類及び財産目録(案)について
- 議案第2号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正(案)について
- 議案第3号 児童養護施設仁風学園の施設整備計画(案)について

令和2年度事業団職員研修

事業団全体研修

令和2年6月30日(第1班)

令和2年7月2日(第2班)

*新型コロナウイルスの影響のため、中止



階層別研修

・幹部職員研修

令和2年7月17日(1班)、7月21日(2班)

(内容)

- 1 理事長挨拶
- 2 特別講義「メンタルヘルス・ハラスマントについて」
講師:鹿児島産業保健総合支援センター 木元由美子 氏
- 3 人材育成計画に基づくキャリアパス制度・評価制度・教育研修制度について
- 4 人事考課の基礎と実施のポイント
講師:(株)九州経済研究所 中島文作 氏
- 5 改正労働法を踏まえた諸規則の改正と運用について
- 6 月次実績報告について



・新任幹部職員研修

令和2年8月20日~21日

(内容)

- 1 理事長挨拶
- 2 管理者基礎コース
 - ①管理者に期待される役割 ②マネジメントとは
 - ③管理職としてのリーダーシップ
 - ④管理職のコミュニケーションスキル ⑤部下育成・指導
講師:(株)九州経済研究所 榎田美紀子 氏

- 3 経営計画2019・人材育成計画等について
- 4 特別講義「メンタルヘルス・ハラスマントについて」
講師:鹿児島産業保健総合支援センター 木元由美子 氏
- 5 人事評価制度について
- 6 法人経営について
- 7 労務管理の基礎等について

・新任主任職員研修

令和2年8月7日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 特別講義「生きたことばでコミュニケーション～利用者様・施設内におけるマナー」
講師:フリーアナウンサー・コミュニケーションコーディネーター 中村朋美 氏
- 3 クレームをチャンスに変える初期対応トレーニング
講師:(株)九州経済研究所 中木屋民 氏
- 4 評価制度について
- 5 講評



・サブリーダー研修

令和2年9月28日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 人材育成計画について



意見交換会

- 4 リーダーシップ養成 講師:(株)九州経済研究所 中島文作 氏
- 5 講評



・新任職員(2年目)フォローアップ研修

令和2年10月13日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 人材育成計画について
- 3 意見交換会
- 4 今までの振り返り
 - ①組織とは、社会人とは ②入職してからの振り返り
 - ③理念の実現につながる行動をさらに増やしていくために大切なこと
 - ④行動プラン作成 講師:(株)九州経済研究所 坂本ア希子 氏
- 5 講評



・新任職員研修

令和2年4月14日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 事業団の概要・服務規律・諸規則等について
- 3 ①社会人としての心構え ②仕事の覚え方
 - ③ビジネスマナーの基本 ④電話応対の基本 ⑤来客応対の基本
講師:(株)九州経済研究所 坂本ア希子 氏
- 4 講評



・新任職員(1年目)フォローアップ研修

令和2年10月16日

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 特別講義
 - 「フォローアップセミナー～施設内・利用者様とのコミュニケーション～」
講師:フリーアナウンサー・コミュニケーションコーディネーター 中村朋美 氏
- 3 半年間の振り返り
 - ①組織とは、社会人とは ②入職してからの振り返り
 - ③理念の実現につながる行動をさらに増やしていくために大切なこと
 - ④行動プラン作成 講師:(株)九州経済研究所 坂本ア希子 氏
- 4 人材育成計画について
- 5 講評



・契約職員新任研修

令和2年10月22日(1班)、10月23日(2班)

(内容)

- 1 理事長訓話
- 2 事業団の概要等について
- 3 特別講義「人権同和問題について」
講師:県人権同和対策課 宇都節郎 氏、鎌田豊作 氏
- 4 「報・連・相」徹底術
講師:(株)九州経済研究所 中馬あゆ美 氏
- 5 講評



特集

鹿児島みなみ保育園

講師を招いての活動について

当園では、「知育・德育・体育をバランスよく身につけ素直で優しい心や、相手に対する思いやり、頑張ったときの達成感を感じることができる子ども」を保育方針（＝目指す方向・目的）としています。その方針の一つとして、下記のような講師を招いての活動を行っています。

英会話教室

■ 外国語に触れ、親しみを持つ。

「ハロー」の挨拶から始まる英会話教室。講師のカバンから色々なアイテムが出てくるので、毎回子ども達は期待に胸を膨らませながら参加しています。パペットや絵本、ギターの演奏を通じて英語に親しんだり、積み木やカード、ひも等いろいろな物を使いながら子ども自身が実際に体験しながら過ごす時間はあっという間です。

■ 講師よりひとこと

愛らしくて可愛い子ども達がいつも笑顔で参加できるよう、音楽の力を借りたり物を触らせて感じさせたりと、コミュニケーション出来るように心がけています。交流する中で成長を感じる時が幸せです。



アートクラブ

■ 様々な素材に触れ、親しみを持つ。表現をする楽しさを味わう。

アートクラブには毎回テーマがあり、様々な技法で絵を描きます。例えば、普段使わないオイルパステルで絵を描き、オイルで伸ばしていく技法を用いて雲や虹を完成させたり、身近なカラー・ペンや丸いシールを使用して線でつないで模様づけていく技法もあり、子ども達は喜んで参加しています。同じ材料、技法を用いても一人ひとりの個性あふれた作品が出来上がり、毎回、絵画を楽しく学んでいます。



■ 講師よりひとこと

活動では、子ども達一人ひとりの素敵なところ、輝いているところを見つけ、その子に伝えることを心がけています。子ども達の関わりの中で新たな発見があり、素直でまっすぐな子ども達と話すことが毎回楽しみです。

幼児教育相談

各クラスの担任が子どもの様子を見て感じることや不安に思うこと、保護者の相談を受けたことを、臨床心理士・作業療法士に伝え、遊びの様子や友達、保育者との関わり等の様子を見て頂きます。それを基に各クラスの担任や保護者と面談を行い、助言を頂きます。相談内容・結果によっては、相談支援事業所を通じて児童発達支援事業所へ繋げる場合もあります。



リズム＆運動遊び

■ 様々な運動を経験し、身体を動かす活動を楽しむ。

挨拶や返事など基礎的な部分を取り入れながら楽しく準備運動（徒手体操）することから始まります。補強運動では、保育室の端から端まであきらめないで頑張る子ども達の姿が見られ、マット運動や縄跳びなど年齢に合わせた運動遊びを楽しします。最後にはリズム体操をし、みんなで楽しく身体を動かし、汗をかいてスッキリした表情を見せてくれます。

■ 講師よりひとこと

元気いっぱいの子ども達との活動はとても楽しい時間です。最初は泣いて活動に参加しなかった子どもがだんだんと活動に参加するようになったり、出来ることが増えていく過程を見て、成長を感じられることがとても嬉しいです。

● 徒手体操…器械・手具を用いないで行う体操のことです。

● 補強運動…身体能力をさらに高めるためのエクササイズです。ランニングだけでは鍛えにくいところを、集中的に動かすことで、筋力や関節の動かせる範囲を高めたり、体の反応速度を向上させます。

硬筆教室

■ 就学に向けて文字に触れ、親しみを持つ。

言葉や文字に興味を示し、就学に向け文字を書く練習をしている硬筆教室。鉛筆の持ち方、姿勢から入り、あ行からわ行までの書き順や形を教えて頂き、自分の名前を書けるようになる、そして話し言葉と書き言葉が違うことの勉強につながる活動をしています。子ども達は、ゆっくり丁寧に書く子やすらすら書いて最後の色塗りを楽しみにしている子と様々ですが、五十音順の中で、自分の名前の文字がどこででてくるのか興味を示したり、漢字からひらがなができる文字になっている話をして下さるので、楽しみながら1時間集中して参加しています。

■ 講師よりひとこと

子ども達は人懐っこく、まとまりのあるクラスだなと思います。活動では、全てを手助けするのではなく、なるべく自分の力で達成できるよう気をつけています。



絵本の読み聞かせ

■ 様々な話を聞き、興味関心を広げる。

年10回程、2組の講師が来園され、季節の本や、年齢に合わせたわらべ歌や指遊び、パペット等を用いて話をします。

■ 講師よりひとこと

子ども達の顔を思い浮かべながら、季節や年齢に合わせた絵本選びに一番時間をかけています。絵本を読み聞かせしている時の子ども達のつぶやきが楽しく、一緒にわらべ歌を歌う時の表情がとても可愛いです。



ねっとわーく

施設の窓から

児童養護施設
仁風学園

命について考える

一昨年の10月15日、仁風学園にとってとても悲しい出来事がありました。この日は学園に2歳から入所していた当時中学2年生Mさんが、大病を患い亡くなった日だからです。

あれから早一年が経ちました。私達自身、Mさんの死で考えさせられるものが多くあり、職員で話し合った結果、何か命について考える機会が持てないかと検討しました。そこで、Mさんの供養と共に、学園の隣にあるお寺の教導



職をお呼びして、命について考える機会を作ることになりました。そして10月17日、学園の食堂を使い、「命について考える」を実施しました。当日は、Mさんの同級生やその保護者をはじめ、転退職された元職員の方もぜひ参加したいとのことで、希望した元職員と小学生以上の在園児童が参加しました。教導職をお呼びすることが初めてであり、Mさんが亡くなった以降に入所した児童も多く、「死」というものを感じるか不安に思っていました。しかし、式も滞りなく進行し、厳粛な雰囲気の中実施することができました。最後に、教導職より命の尊さ、今命があることが奇跡であること等低学年の児童へも分かりやすく話をして頂き、命の大切さを理解することができました。

子ども達にとって14歳という若さで亡くなつたMさんの死は、正直とても悲しいものです。



しかし、今回命の本当の大切さ、尊さを知ることができたように思います。今生きている者として、彼女の死を無駄にせず、一生懸命生きていくことがせめてもの供養になるということを信じて、子ども達と一緒に一日一日大切にしたいと思います。

●児童指導員：佐藤 真也

養護老人ホーム
慈眼寺寿光園

「寿光園デパート」開店

10月27日、寿光園デパートが開店しました。毎年、山形屋商事さん協力のもと、デパートのように衣類や小物、シューズ等を並べ、利用者の方々に買い物を楽しんでもらっていましたが、今年はコロナ禍において、これまでの形で実施することは難しく、何ができるかを探すことから始まりました。

そこで、今年はスーツ姿の職員が店員に扮



して、利用者の方々のお手伝いをする「寿光園デパート」を開店することにしました。「寿コース」「光コース」「紅コース」「白コース」4つの福袋を準備して、山形屋商事さんからお貸りしたマネキンが各コースの商品を着飾り、商品のイメージを膨らませました。さらにマネキンの顔は寿光園職員になっており、それに気づいた利用者の方々は、マネキンに話しかけられたり、大笑いされたりしていました。店員から各コースの商品一つひとつの説明を受け、「わたしはこの光コースがいい」「ボロシャツの色はこの色で」と真剣に選ばれています。

感染症対策のため、外出や面会を控えていただき、余暇活動や行事等も中止や縮小され、自粛生活が続く日々の中で、久しぶりに利用者の方々の笑顔を見ることができました。こ



れからも、万全な感染症対策を行いながら、利用者の方々に心からの笑顔が生まれるよう努めていきたいと思います。

●支援介護員：大倉 弥生

児童養護施設
若葉学園

星空観察

8月14日、未帰省者小学生5名と星空観察へ出かけました。

ちょうど8月12日がペルセウス座流星群の極大日であったため、もしかしたら流れ星を見ることができるかもという期待の中、夜のお出かけでした。夜にお出かけすること自体、子ども達にとっては滅多にないことであり、それだけでもワクワクがとまらない様子で、「どこへ行くの?何時から?」と行く前から質問攻めでした。



姶良市にはスターランドAIRAというプラネタリウムや昼夜を問わず、星が観察できる施設があります。職員が以前利用した時以来、ぜひ子ども達にも体験して欲しいなあという思いから星を観察することにしました。

車中では、いつも以上に興奮気味で、子ども達のワクワク感が伝わってきました。行く途中では、場所が山奥ということもあって、道路に鹿やうさぎ、タヌキ等の動物が出てきて野生の動物たちを見ることもできました。

スターランドAIRAに着くと、周りは街灯も少ないため真っ暗でしたが、星空を観察するには最高の場所でした。今回は時間の関係で望遠鏡を使っての観察はできませんでしたが、天の川がはっきり見え、カシオペア座、北斗七星、さそり座等の星座も確認することができ、子ども達も「わかる、わかる」と歓声を上

げていました。「流れ星が見えるといいね。」と言しながらしばらく満天の星を眺めていました。すると、「あ、今、流れた。」「見えた、見えた。」と流れ星にさらに大興奮でした。

今回のお出かけで思ったことは、家庭のような経験をたくさんさせてあげたいということです。経験不足による知らないこともあります。子ども達が施設にいて寂しくならないように、より家庭的な支援をしてあげたいと思いました。

スターランドAIRAに着くと、周りは街灯も少ないため真っ暗でしたが、星空を観察するには最高の場所でした。今回は時間の関係で望遠鏡を使っての観察はできませんでしたが、天の川がはっきり見え、カシオペア座、北

斗七星、さそり座等の星座も確認することができ、子ども達も「わかる、わかる」と歓声を上

げていました。

保育所
同胞保育園

ドキドキ・わくわくの生活発表会

今年も子ども達が楽しみにしていた生活発表会が開催されました。例年とは違い、新型コロナウィルス対策として、屋内ではなく屋外ステージのかんまちでの開催となりました。

私は、5歳児クラスを担当しており、子ども達が最後の発表会で自分の力を發揮し、表現を楽しめるよう意識しながら日々の練習に取り組んできました。「この振り付けがいいね」と子ども同士で刺激をもらい、「もっとこうしてみよう」と考えながら、様々な表現方法への出会い



に繋げられる貴重な時間となりました。10月23日、いよいよ生活発表会の日。「ドキドキする」と緊張しつつも気合が入った子ども達。大雨だった空も開演の時には子ども達のパワーで青空も見えてきました。

最初はお遊戯。「ツッパリハイスクール」と「キャンディ・スマイル」の曲に合わせて披露しました。大好きな曲であり、素敵な衣装を着て笑顔で踊りきることができました。次に、4歳児クラスと合同で合奏を披露しました。リズムに合わせて楽器を演奏することが苦手な様子の子ども達でしたが、しっかりと担任の指揮を見ながらリズムに合わせて演奏できていました。最後は、劇「夢の色ってどんな色?」。一人ひとり、自信をもって大きな声でセリフを言うことができました。



新型コロナウィルスが流行している中、対策を行った上で無事に開催することができ、とても嬉しい発表会になりました。子ども達にとっては、日頃の練習の成果を発揮できた達成感や、楽しくのびのびと表現する充実感を味わいつつ、子ども同士で力を合わせて取り組むことの大切さを知ることができ、貴重な時間になったと思います。生活発表会は、子ども達の成長を目で見て感じることができる行事ですので、今後もこの行事を大切にしていきたいと思います。

●保育士：桐原 美明

ねっとわーく

母子生活支援施設

世界にひとつだけ! オリジナルマスクづくり

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、室内では基本的にマスクをつけることが求められるようになりました。母子生活支援施設でも、居室以外ではマスクの着用をお願いしています。

そこで、施設では、マスク着用の促しを目的としたマスクづくりを実施しました。対象は小学生で、施設内の学習指導の時間を利用して実施しました。学習指導についても、現在、



時間を細かく分け、マスク着用、換気、消毒などの感染症対策を行って実施しています。

マスクづくりでは、土台となる布マスクにリボンやワッペン、大人気のアニメキャラクターの着物柄の生地等を、思い思いにデコレーションしてもらいました。シンプルにワンポイントで素材をつける児童もいれば、友人同士でおそろいの模様にする児童達もあり、児童一人ひとり、個性あふれる作品が完成しました。また、活動の目的であった、マスク着用の促しについても、翌日から自分で作ったマスクを児童達が着用しており、施設内だけでなく学校にも作ったマスクを着用して登校する等、活動の成果がみられました。

現在、施設では、感染症対策を講じながら、マスクづくりのほか、児童会やおやつづくりを実施しています。またこれからクリスマス会や



子ども新年会等の行事も実施できるように計画中です。感染症流行の終息はもとより収束もまだまだ不透明ですが、そのような中でも、利用者の笑顔と日々の暮らしの幸せにつながる支援、施設行事を行っていきたいと思っています。

●少年指導員：松林 立佳

障害者支援施設 川内自興園

一般就労がお2人決まりました

川内自興園の就労移行支援事業所を利用され、ほくさつ障害者就業・生活支援センターとの連携で、職場実習を経て、今年10月1日より薩摩川内市の株式会社誠建設様へ採用が決まった岩田浩二さん。薩摩川内市内の病院で会社が受託している清掃作業に頑



張っておられます。職場まで電動アシスト自転車にて朝7時前に出勤されていますが、働く喜びと自信を胸に笑顔であふれています。

塩向陽一さんは、通所で就労継続支援B型事業所を利用され、ほくさつ障害者就業・生活支援センターとの連携で薩摩川内市内の病院で管理棟清掃作業が決まり、10月1日より病院採用となりました。とても責任感が強く、黙々と作業に

取り組む塩向さんは、B型でも頼りになる方で、採用先でもきっと頼られる存在になることでしょう。お2人とも、真面目な方々なので、無理せず、元気にお仕事を続けられるようエールを送ります。



●主任支援員：中嶋 憲一

障害者支援施設 ゆすの里

就労セミナーについて

ゆすの里では、就労を希望している利用者の方々が日々の訓練において改善、向上した機能を活かし、今後、地域生活の中で希望する就労を目指すことを目的とした就労セミナーを開催しています。

就労セミナーは今回で4回目となりました。かごしま障害者就業・生活支援センターより、



谷山勝啓副所長、前村ひかり主任支援員を講師としてお招きし開催しました。

今回は新型コロナウイルスの影響もあり、定員を決め、事前受付のみという形で行ったのですが、当日に参加したいという方もおり計14名の参加となりました。セミナーの内容としては、演習も含め、「働くこと」の意味や自己理解の重要性についても講話ををしていただきました。演習では実際の求人票を用い、模擬的に希望職種の選択等を行いました。実際の求人票を目の当たりにして「こういう仕事もあるんだ」と驚き、喜んでいる利用者の方もいました。希望者には個別の面談の時間も設け、参加の方も大変満足されている様子でした。

現在、コロナ禍において職場実習や見学は行えていません。対外的なことが難しいからこそ、施設での就労に向けてのプログラム



の充実を図っていく良い機会となっています。就労を希望している利用者の方は多いので、今後も一人ひとりに寄り添い、自分らしく生きがいのある暮らしを営めるよう支援していけばと思っています。

●作業療法士兼支援員：中村 憲史

障害福祉サービス事業 リハステーションゆす

One team!! ~壁紙制作~

リハステーションゆすでは、現在コロナ禍で自粛生活の中、外出活動を極力控えています。単調な訓練ではストレスも溜まってしまうので、利用者の方々が室内の活動でモチベーションを維持できるよう、試行錯誤しながら日々訓練に取り組んでいます。

その中の一つである「日常生活訓練」の「壁紙制作」をご紹介します。壁紙制作はグループでアイデアを出し合い、季節に沿ったテーマの壁紙を制作し、壁面を飾ります。訓練



室に季節感も出ますし、自然と会話が生まれ、利用者間に仲間意識と一体感が生まれます。

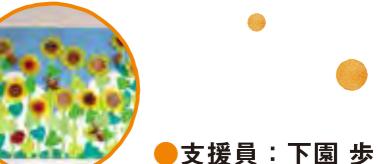
5~6月は『梅雨』をテーマに、「あ~した天気にな~れ!」という願いを込めて、青空と色とりどりの「虹と傘」を、7~8月は『夏』をテーマに、青空のもと丘の上で太陽に向かって咲く「ひまわり」を、9~10月は『ハロウィーン』をテーマに、10月31日のハロウィーンに向けて、コロナ禍の中で少しだけでも楽しいイベントを目で感じ、気持ちだけでも「ハッピー」になれるように、最後まで楽しみながら制作できました。

それぞれ作成班に分かれ、一人ひとりが役割を分担しながら、折り紙、花紙、モールやマスキングテープ等、各々工夫して材料をチョイス!作成中も、「このひまわりには顔を付けよう!」「かぼちゃには帽子を被せてみようかな!」「ここはこうやって切った方がバランスいいと



思う」等、いろんなアイデアが飛び交う中、みんながひとつになり、個性あふれる素敵な作品が仕上がりました。

これからもコロナなんかに負けないぞ!という前向きな気持ちを込めて、素敵な作品を作っていますので、乞うご期待…!!



●支援員：下園 歩

ふくしのおしごと紹介

当事業団では、各施設で専門職員が働いています。

一部ではありますが、各施設で活躍する専門職の皆さんを紹介します!

心理判定員

勤務地 仁風学園、若葉学園、母子生活支援施設、ゆすの里、リハステーションゆす

●若葉学園:田尻貴美 児童指導員兼心理判定員

■仕事内容

主となる業務は、虐待を主訴として入所した児童、日常の生活場面で困り感を抱いている児童、知的な面で支援が必要な児童との個別での心理面接です。面接を行う児童の年齢は幼児から高校生と幅広く、おもちゃで無邪気に遊ぶ児童、黙々と制作をする児童、悩みを吐露する児童とその行動は様々で、中には年齢にそぐわない、赤ちゃんのような行動を取る年長児もいます。日常から離れた特別な空間の中で子どもたちが自由に表現し、そこで得たものを日々の生活に活かしていく、その手助けをする事が私の役割ではないかと考えながら、日々支援にあたっています。



■ひとこと

発達障害や被虐待児等、様々な問題を抱えた子ども達が少しでも楽しく生活できるような手助けができればと思っています。

言語聴覚士

勤務地 ゆすの里、リハステーションゆす

●ゆすの里:宮園 健志 言語聴覚士兼支援員

■仕事内容

言語聴覚療法は、コミュニケーションと飲み込みの機能向上を目的としています。「聞く、話す、読む、書く」コミュニケーションが困難な方に言語訓練を、口腔器官の麻痺により、言葉が歪む、声が出しにくい、発声に異常がある方に話す言葉の訓練を実施します。また、麻痺や老化により飲み込む力が低下した方には飲み込みの訓練を実施します。飲み込む力が低下すると、食物が食道に入らず気管に入り肺炎を起こしてしまいます。話すこと・食べることは日常生活に欠かせないものです。その人らしく、よりよい生活を過ごしてもらうよう訓練を行っています。



■ひとこと

利用者の方々に笑顔で過ごしてもらえるよう頑張ります。

生活相談員

勤務地 慈眼寺寿光園

●慈眼寺寿光園:小池由起子 生活相談員

■仕事内容

生活相談員の仕事として、利用者のサービス計画の作成があります。サービス計画には処遇計画と特定施設サービス計画の2種類があります。その中で私は特定施設専従(ケアマネージャー)として働いています。私の仕事は①介護保険の認定や代行申請業務・介護サービスに関する相談②介護保険のサービス利用の希望がある方の特定施設サービス計画の作成及び介護サービス担当者会議の開催等が主なものとなります。当園入所者の約7割の方が特定施設サービス利用の対象となっています。



■ひとこと

養護老人ホーム慈眼寺寿光園の生活相談員として半年が経ちました。利用者の方々に顔を覚えていただき、声をかけていただく機会も増えてきました。これからも利用者の一人ひとりの思いと真摯に向かい合い、心からの笑顔が生まれるよう努めていきたいと思います。



シリーズ Person ひと



川内自興園 支援員
岡元 昌樹

①自己紹介をお願いします。

今年度より川内自興園で支援員として配属されました、岡元昌樹と申します。人と関わることや、話すことが好きでこの仕事に就きました。毎日、充実した日々を過ごしています。趣味は、温泉巡りで霧島まで足を運ぶこともあり、自然に囲まれた中で温泉に浸かると本当にリフレッシュできます。

②今、行っている仕事内容は何ですか?

現在、就労継続支援B型事業所の花卉班にて、利用者の方々と汗を流しています。一つの事をやり遂げた時は、利用者の方々と達成感を共有しています。

③事業団で働いて半年経って…

周りの職員の方々に支えられながら、様々な経験を積ませていただいている。多くの専門職の方から適切なアドバイスを頂き、利用者の方々からも多くの事を学んでいる毎日です。

④休日はどのように過ごしていますか?

コロナ禍なので、なかなか外に出ることは難しいですね…。家では読書や映画鑑賞をしてリフレッシュしています。

※ちなみにどんな本を読んでいますか?

「鬼滅の刃」や「約束のネバーランド」等、漫画をよく読んでいます。映画は洋画を見ることが多いですね。その中でも、アクション物が特に好きです。最近は、「ミッションインポッシブル」の最新作を見ました。

⑤先輩方へ一言お願いします!

事業団に就職してから半年経ちましたが、まだまだ学ぶことが多い毎日です。これからも色々な事を吸収していきたいと思います。ご指導宜しくお願いします!

【インタビュー】
川内自興園 高田 拓維



1日の勤務の流れ

8:30～ 出勤



8:45～ ラジオ体操、朝礼



9:00～ 午前作業開始

11:30～ 午前作業終了

12:00～ 休憩

13:00～ 午後作業開始

17:00～ 作業終了、事務処理

17:30～ 退勤

栄養士

勤務地 仁風学園、若葉学園、慈眼寺寿光園、婦人保護施設、同胞保育園、鹿児島みなみ保育園、ゆすの里、川内自興園

●同胞保育園:徳田 美季 栄養士

■仕事内容

主に給食の献立を考えたり、食材を発注したりしています。給食時間には食事の様子を見ながら、箸の持ち方や食事のマナーの指導を行っています。誕生会・クリスマス会など行事食や郷土料理の提供にも力を入れています。また、アレルギー対応食も行っており、対応が必要な園児には代替食や除去食で対応しています。食育では野菜の栽培やクッキングを行い、食の大切さを伝えています。



■ひとこと

食育活動では、野菜の栽培やクッキングにも取り組んでいます。子どもたちからの「おいしいよ」の言葉がとてもうれしくて、やりがいのある仕事です。

2020川内自興園ふれあい販売会

気持ちの良い秋晴れの中、ふれあい販売会がスタートしました。今年は新型コロナウイルスの影響で、例年開催している春まつり、秋まつりを実施できませんでしたが、今回は11月7日、8日にふれあい販売会という形で、利用者の方々が作った野菜や花の苗、木工品、陶芸品の販売を行いました。加えて、今年は就労移行・自立訓練でのプログラムで行った、手工芸の販売も行いました。野菜や花の苗、培養土については、約2週間のセール期間を設けたこともあり、多くの方々が来園してくださいました。誠にありがとうございました。



令和3年度は次の期間で募集を行う予定です。今後も業務の活性化と施設のサービス向上のためたくさんのご応募お待ちしています!

第1期募集：6月1日～8月31日

第2期募集：10月1日～12月31日